

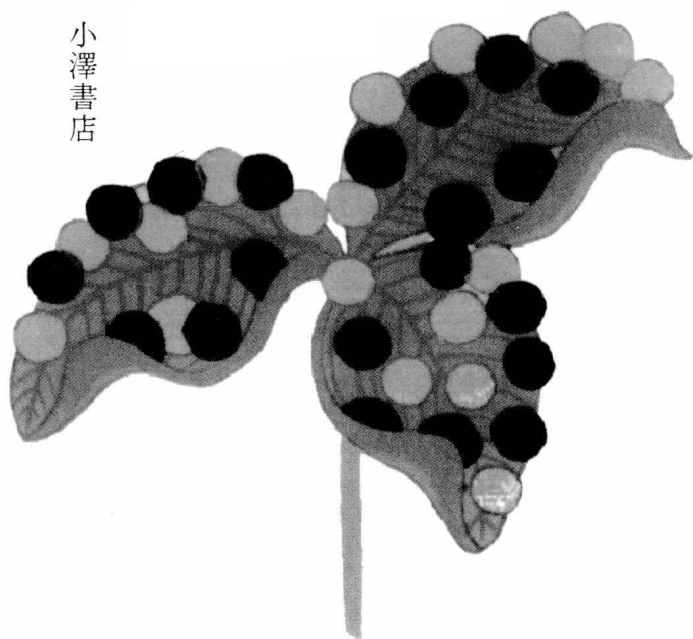


歌集

鳥獸蟲魚

前登志夫

小澤書店



歌集 鳥獸蟲魚

平成四年十月十五日印刷

平成四年十月二十日發行

著者 前登志夫

發行者 長谷川郁夫

發行所 小澤書店

東京都豊島區雑司谷二丁目一
電話（東京）五九九二一二四四一（代表）

印刷 精興社

製本 大口製本

製函 三眞堂

歌集
鳥獸
蟲魚
目次

I

國原

II

鳥の埤山

求衣

21

21

山の星宿

28

首
31

31

鳥の謀叛

34

みすまる

20

落葉

日付のある歌

44

春の雲

55

籤

57

殘櫻抄

60

若葉の村

71

斜面 74

II

野に臥す 病院日誌 79

秋の杖 86

まばたきふかし 89

底にしづめて 96

黒暗 98

後夜 103

朴の花 106

蝸牛考 109

暗緑の森 或る自畫像

空のはたてに 百首歌

120 117

III

新羅斧	坂	牢	春の雪	壁	葛城青し	手紙	鳥獸蟲魚	はるかなる他者	即事	花にふる	杉
198	196	194	188	185	181	174	166		162		157
								163		160	

花
骨
牌

200

崖
の
上
に

209

空
の
遊
園
地

212

沐
浴

217

火

224

秋
野

227

山
道

232

あ
と
が
き

235

裝
幀
司
修

歌集

鳥獸蟲魚

國原

國原くにはらに虹かかる日よ鹿のごと翁さびつつ山を下りぬ

茫茫とわれはけものかてらてらと葉のひかるさへかなしきものを

天上の一枝を折りて土に差す靄ふかきかなわれの國原

國原の花野に睡るをみなごを戀ひわたり來し山人ありき

鹿皮をまとひて山にすごしけむ國原とほく麥青めるに

くさむらにわれ立ち舞へば赤銅あかがねの八十梟帥やそのたけるらどつとはやすなり

まつりごつ人らを選ぶ春の日の國原の靄ふもとにたまる

人群れてたぬしかるべし罅ひびはしる執金剛神まもらせたまへ

惡醉ひの都市の嘔吐^{たぐり}にまみえたるああべろべろの金山彦^{かなやまびこ}か

次男、仙臺に遊學。

みちのくを黒のナナハンひた走る蝦夷^{えぞ}の夕べの闇ふかからむ

娘、大和橿原市八木に下宿して高校に通學する。

櫻桃^{あうたう}をかたみにつまみ昏れむとす耳梨山も雨降りくらむ